



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

◎石叫 ■ 「中国人民に告ぐ」④

合作の基盤の上に築き上げられるものと、余は確信している。それ故われらは、民主と合作の大道に向って邁進し、以て全世界の永久平和を、ともに擁護してゆこうと切望しているのである。

全世界同盟国の諸氏、並びに全中国の諸君！
 われらが武装のもとで勝ち得たこの平和は、必ずしも永久平和の完全な実現ではない。敵が理性の戦場に於いても心からわれらの正義に服し、徹底的に悔い改めて、真に世界での平和愛好者に全く変り、われらと同様になった暁にこそ、初めて全人類の希求する平和、及び今次世界大戦の最終目的が、達成されたと言えるのである。

この告示は決して日本への懲罰ではない。この勝利を機会に今後は、地球上から全ての武力による戦争を根絶したいと強く願い、その真意と方法を全中国国民と連合国民に訴えたものであり、「以德報怨」(いとくほうおん)といわれるものである。つまり怨みに対しては徳をもって報いるという考えであり、戦争の禍根の一つは、怨みにあると知っていたからであった。蒋介石はカイロ会議でルーズベルトやチャーチルを説き伏せて信念を貫き通したのである。

一九七〇年、蒋介石は台北で外人記者に対し、日本留学時代を回想して、「私は日本国民を尽忠報国の精神に敬意を払う者であります。親に孝、師を敬い、任侠を尊び、義を重んずる日本の民族性を愛します。私にとって日本は心のふるさと、第二の故郷であります」と言うほどに日本を愛した人物であった。

実はこの蒋介石の終戦の告示は、私が宣教活動のために一九九四年秋に中国国内を旅した際、日本から同行した長谷川太郎氏からいただいたものである。彼が旅の間、私たち一行に熱く語る蒋介石の人道的・信仰的愛が実に印象的であった。これは彼が台湾に渡った一九八四年に入手したものである。そして蒋介石の古武士のような倫理観に脱帽させられたのであった。本来ならば敵国人を怨みをもって報いるのが世の常であろうに。でも、それを一切許さず、隣人愛に徹した蒋介石という人物に、愛を以って報いるように導いた主イエス・キリストの神の力を見るのである。黄金律といわれる聖書の最高峰、「何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ」(マタイ七・12)との主イエスのみ言葉の実践こそ、世界を平和に変える神の知恵である。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

